



通いの場の新たな取り組みが始まっています。

県の通いの場魅力向上事業を活用し、国東町旭日地区の地域支え合い活動団体「里づくり旭日ネットワーク協議会（あさひネット）」が行うカフェの時間にeスポーツを導入しました。

9月20日には旭日地区公民館で、eスポーツの説明・体験会が開催されました。県eスポーツ連合の会員がeスポーツ導入による効果や運営

方法、機器の設置について説明。その後、実際に参加者が「太鼓の達人 ドンダフル フェスティバル」（株式会社バンダイナムコエンターテインメント）をプレイしました。今後は大学生も支援に加わり、体験会やイベントを計画しています。子どもから高齢者まで幅広い世代と一緒に楽しむことができるeスポーツをカフェや食事会だけでなく、地域の多世代交流や他の地域支え合い団体との交流を目的



としたイベントに活用することを検討しています。

Tsunagaru

新たな取り組み

eスポーツで通いの場の魅力向上



当初は高齢者の生活支援・介護予防のために始まった地域支え合い活動。現在は活動の幅を広げ、地域の多世代交流のきっかけとなっている団体もあります。

Tsunagaru

世代を超えて カフェを通じた多世代交流

武蔵町武蔵西地区の「武溪の会」では、ふれあいカフェで地元の高校生たちとの交流会を年に数回、行っています。地域の高齢者と高校生が共にスタッフとしてカフェを運営。おいしいコーヒーとともに、世代を超えた交流を楽しみます。

国見町竹田津地区の「かもめ」では、子どもたちの長期休みの期間で「かもめこどもカフェ」を開催。地域の小学生たちがかめのスタッフの一員としてお客さんをもてなしました。



Tsunagaru

地域を超えて くにさき地域応援協議会 寄ろう会

国東市は、大きく4つの活動単位に分けることができます。最も小さい活動単位が130か所の行政区、その次が16か所の地区公民館で、支え合い団体は主に地区公民館単位で設立されています。地区公民館の次が旧町、そして最も大きい活動単位が国東市全域です。

市内の地域支え合い団体による協議会「寄ろう会」は、高齢者支援や地域活性化など



を国東市全域・一丸となって協議する場です。年2回開催されており、今年は5月と10月に開催。各団体の代表者や関係機関の職員が集まります。

「寄ろう会」とは、国東の方言で「集まる」という意味。会の名称を決める際、「みんなで集まって暮らしの支え合い」を話し合おう」と親しみを込めて「寄ろう会」と名付けられました。

国東
つながる暮らし

kunisaki life

海・山・川・歴史、そして繋がる人々の暮らし



国東つながる暮らし

海・山・川・歴史、そして繋がる人々の暮らし

国東つながる暮らし

HP・Instagram 日々更新！

市内の地域支え合い団体や、市外から移住してきた方々によるブログなど、国東の暮らしの今がぎゅっと詰まったサイト「国東つながる暮らし」。

市内の各団体を紹介するページからは、各団体の公式Instagramへアクセスすることができます。

お住まいの地域でどんな人が、どんな活動をしているのか。ぜひサイトにアクセスしてのぞいてみてください。

サイトへのアクセスは左の二次元コードから、または「国東つながる暮らし」で検索。